



## 2022 年度事業報告

2022 年は新型コロナウイルス感染症が少し落ち着きを見せ、感染対策を徹底したうえでコロナ禍以前と同じような取り組みが実施できた。パラリンピック東京大会を経て、ガバナンスコード強化に努めた一年であった。特に組織内部のインテグリティ教育を徹底し、組織強化と人材育成に努めた。

パリ大会移行のロス大会に向けて新しい選手やスタッフ発掘育成や、パラ選手が利用可能な競技場や施設の環境整備が引き続き課題となっているが、地域にもパラスポーツが浸透してきているため、選手強化活動と並行してパラカヌーの認知度向上のための普及事業、広報事業を行った。

### 理事会

ガバナンスコード適合性審査の改善点对応、ガバナンスコード自己評価の公表（HP 掲載資料参照）

- ・定例理事会 計 14 回 開催
- ・臨時理事会 計 1 回開催
- ・委員長ミーティング開催 計 6 回(10 月から毎月 1 回定例化)
- ・中長期計画策定 3 月 31 日 HP にて公表済

### 事務局報告

#### 【広報事業】

- ・協会の主となる情報は HP から収集できることを目標に、HP を充実
- ・機関紙 mini の発行全 3 回
- ・イベント等の広報ツールの制作（ロールアップバナー2 種、カヤック実寸ラバーマット）と活用
- ・Twitter フォロワー800 人達成
- ・公式 Instagram アカウント作成
- ・東京都障害者スポーツ協会広報セミナー講師派遣
- ・年間通じた日本代表選手やスタッフのメディア露出、取材対応など。その様子を Facebook、Twitter で拡散

#### 【基盤整備事業】

- ・協賛企業獲得活動 ブロンズスポンサー 株式会社グローセル 様との契約継続
- ・業務体制改善 会議のリモート化による活発な機会の創出、リモート化により業務環境の改善
- ・経費削減 パラスポーツサポートセンターのバックオフィス機能の経理を全面活用、パラスポーツサポートセンター推奨である労務のシェアードサービスの free アプリ活用により社労士契約分の経費削減

パラスポーツサポートセンターのシェアードサービスへの全面的移行を行うことで、ガバナンス強化にもつながり、経理や事務作業の透明化につながった。



## 各委員会報告

### 【普及委員会事業①】

地域連携による体験会の実施や委託事業への参加を主として、地域でのカヌー環境の構築のための事業を展開した。また、SDG s の取り組みとして、実施板場所でのクリーンアップ活動や、体験者を障害者に絞らないD&Iを目標とした体験会を開催した。

- ・パラマウントチャレンジカヌー体験会を全 3 か所で実施（茨城県土浦市、千葉県佐倉市、東京都江戸川区葛西スラロームセンター）
- ・第 5 回全国 200m 競漕(石川県小松市)
- ・チャレスポ TOKYO 協力
- ・東京都選手発掘事業協力
- ・加美町サポーター講習会&インクルージブカヌー体験会協力
- ・TAMA スポーツ祭の協力（東京都多摩障害者スポーツセンター）

### 【普及委員会事業② 人材育成事業 サポーター講習会】

・パラカヌーサポーター講習会全 5 か所で実施（茨城県土浦市、東京都江戸川区、葛西スラロームセンター、佐賀県佐賀市、香川県坂出市）計 72 名のサポーター会員を育成  
講習会実施場所においては、新規 5 地域の発掘と連携体制を構築した。（自治体、障害者スポーツ協会、県カヌー協会との連携体制獲得。）

### 【普及委員会事業③ 地域振興事業】

小松市で地元カヌー協会と連携してパラ選手の練習会を実施し、選手育成体制が整備された。また、フアインプラザ(大阪府堺市)で全 2 回のエルゴ体験会を一般社団法人カヌーホームに委託し実施した。スタッフもエルゴの活用を理解することで、地域の選手の練習にもつながる知識を獲得した。

東京都多摩障害者スポーツセンターにおいて、発掘した選手はじめ体験者を募り競技艇の体験やレク艇の体験会を実施した。(全 2 回)

2023 年度は、東京都多摩障害者スポーツセンターのプログラムにプールでカヌー教室の開催が決定した。

### 【競技委員会事業① 選手強化事業】

・4 月から新体制に変更し強化活動を実施。専任コーチスタッフ事業において HPD(ハイパフォーマンスディレクター)の設置が必須となったことより、強化責任者と強化現場の役割を明確化し、代表チームの強化と競技環境の整備を並行し進められる体制となった。

・競技に関する各委員会も自立した活動展開ができ、現場と連携してスタッフ派遣を行い選手のサポート体制が整備を進めた。

・J-STAR (JSC) タレント発掘事業に参加して 3 名の新人選手の発掘を行い各地域ブロック担当者による育成が進んだ。指導者不足の課題は引き続き取り組むべき課題ではあるが、大阪府下でパラ選手が練習できる環境を整備した。



- ・クロストレーニング事業を実施し、他団体の強化活動から新しいトレーニングの可能性を模索し指導者同士の連携を行った。（パラ水泳、アルペンスキー、パラパワーリフティング）
- ・次世代育成事業として育成合宿（茨城県土浦市、鹿児島県伊佐市の全2回）を行った。
- ・新しい拠点として、鹿児島伊佐市にある菱刈カヌー競技場を冬期に活用して合宿を実施した。
- ・ワールドカップ派遣はロシア情勢の悪化のため断念、世界選手権大会(カナダ)に派遣した。

#### (競技成績)

- ・2022年の世界選手権大会

WVL2：小松沙季 8位、KL2：辰己博実 8位、WKL2：宮嶋志帆 9位、VL3：B決勝、今井航一 8位、辰己博実 9位、KL3：B決勝、今井航一 6位

#### (競技活動)

- ・2022年4月15日～17日 スタート強化合宿(フィジカルチェック/東京都北区 JISS、NTC 利用)
- ・2022年4月24日から26日 高地トレーニング視察（御嶽濁河高地トレーニングセンター、選手2名スタッフ2名の視察）
- ・2022年5月1日～5月8日 第1回強化合宿(石川県小松市木場潟カヌー競技場)
- ・2022年6月25日～7月9日 第2回強化合宿（石川県小松市木場潟カヌー競技場）
- ・2022年7月29日～8月8日 世界選手権大会派遣
- ・2022年8月10日 クロストレーニング依頼（アルペンスキー選手へ指導/k 監督とスタッフ1名対応）
- ・2022年8月12日～8月14日 次世代育成指定選手合宿（茨城県土浦市）
- ・2022年9月6日～11日 日本選手権大会共催（石川県小松市木場潟カヌー競技場/日本カヌー連盟主催大会）
- ・2022年10月28日～11月4日 オフトレーニング合宿（東京都北区 JISS、NTC 活用）
- ※同時にクロストレーニング事業実施（パラ水泳、パラパワーリフティング依頼）
- ・2022年11月14日～2023年3月19日 オフシーズンフリー合宿（鹿児島県伊佐市菱刈カヌー競技場）
- ・2023年3月21日～26日 海外派遣選手選考会共催（香川県坂出市/主催日本カヌー連盟）
- ・協働コンサルテーション（東京都北区）2022年2月1日
- ・HPD研修 全2回（東京都/HPD、監督出席）

#### 【競技委員会事業② 体制整備（ガバナンス強化）事業】

- ・選手の強化と並行して、指導者やスタッフの専門性を高めるため JPC 主催の研修に参加（リモート開催）トレーナー連絡会議、ドクター連絡会議、クラス分け担当会議、コーチ会議、アンチドーピング研修会、映像サポート研修会、栄養サポート連絡会議など
- ・組織基盤整備の為に研修会として、ガバナンス研修会や日本パラリンピック委員会加盟団体会議、障がい者スポーツ協議会会議、スポーツ庁との協同コンサルテーションや強化ヒアリングなどに出席



#### 【医科学委員会】

- ・メディカルチェック、薬物調査を集約して JPC へ提出
- ・アンチドーピング研修会の参加、チームドクター連絡会議などの参加、情報共有
- ・国際大会派遣の際の選手やスタッフの健康調査など

#### 【クラス分け委員会事業】

##### 〈事業項目〉

1. クラス分け委員会ミーティング（全 9 回開催 リモート開催）
2. 競技会内国内クラス分け
  - ・令和 4 年度日本パラカヌー選手権大会におけるクラス分け業務（木場潟カヌー競技場）
  - ・2023 パラカヌー海外派遣選手選考会におけるクラス分け業務（府中湖カヌー競技場）
3. 国内クラス分け委員養成講習会 4th 国内クラス分け委員養成講習会（木場潟カヌー競技場）8 月 20 日 21 日
4. 選手発掘事業参加
  - ・J-STAR 基礎・専門測定へのクラス分け委員派遣
  - ・東京都パラスポーツ次世代選手発掘プログラム参加 11 月 26 日開催
5. 合宿参加
  - ・10 月 26-28 日 JISS 合宿、11 月 22-23 日 伊佐強化合宿、3 月 3-5 日 伊佐強化合宿

#### 【トレーナー部会事業】

##### 〈強化合宿・大会帯同〉

フィジカルコンディショニング・ケア、トレーニングサポート、乗艇補助、測定など

##### 第 1 回 JISS 合宿

- ・4 月 16 日・17 日 ※期間中、1 日あたり 3 名を派遣。

##### 第 1 回強化合宿（石川県：小松市）

- ・5 月 1 日～5 日 終日 ※期間中、1 日あたり 3～4 名を派遣。

##### 第 2 回強化合宿（石川県：小松市）

- ・6 月 28 日～7 月 5 日 ※期間中、1 日あたり 2 名を派遣。

##### 世界選手権大会（カナダ：ハリファックス）

- ・7 月 29 日～8 月 9 日 ※期間中、2 名で帯同。

##### 第 2 回 JISS 合宿：クロストレーニング（JISS/NTC/パラスポーツセンター）

- ・10 月 28 日～11 月 4 日 ※期間中、1 日あたり 2～3 名を派遣。

##### 伊佐強化合宿（鹿児島県：伊佐市）

- ・11 月 14 日～3 月 19 日 ※期間中、毎月 2～3 名（1～2 泊）を派遣。



#### <ミーティング>

##### 第1回ミーティングリモート (ZOOM)

- ・5月25日(水) 20時30分～21時30分 参加者(14名)
- ・年間スケジュールとトレーナー部会規程の確認
- ・部長・副部長の選任、
- ・本パラスポーツ協会公認障がい者スポーツトレーナー受講者の選出

##### 第2回ミーティングリモート (ZOOM)

- ・9月5日(月) 20時00分～21時00分 参加者(9名)
- ・第2回強化合宿(石川県:木場潟) 帯同報告/NTCケアサポートアンケート報告
- ・カルテとケアレポートの書式について
- ・選手情報の取り扱いについて
- ・2022世界選手権(カナダ:ハリファックス) 帯同報告

##### 第3回ミーティングリモート (ZOOM)

- ・12月14日(水) 20時30分～22時00分 参加者(13名)
- ・部会内勉強会(坂光氏:JPCAトレーナー部会発足の経緯・競技特性・トレーナー活動について 60分)
- ・NTC強化合宿(クロストレニング)/鹿児島合宿経過報告
- ・選手情報の取り扱いについて

##### 第4回ミーティングリモート (ZOOM)

- ・2月15日(水) 20時30分～22時00分 参加者(11名)
- ・榎木監督:JPCAトレーナー部会に向けて
- ・2023年度事業計画について
- ・2023年度 JPCAトレーナー部会役員について

#### 【女性スポーツ委員会事業】

- ・JPC女性スポーツ委員会会議の出席
- ・委員会内部の情報交換

#### 【アスリート委員会事業】

- ・委員会開催(全5回)
- ・定期定期的なライン上での情報共有(全10回)
- ・SNSオンラインセミナー参加
- ・JPCインテグリティ研修会参加
- ・JPCアスリート委員会との連携、協力、情報共有
- ・アンチドーピング研修会開催案内と周知